

このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

注意

- ・適正な圧力と適正な使用スピードが最良の作業効率をもたらします。コンプレッサーの適性ゲージ圧力は0.6MPaです。
 - ・エアーツールとコンプレッサーの間にはフィルターとオイルを設置してください。
 - ・使用前にホースをコンプレッサーの圧縮空気で掃除しますと、湿気とホコリが除去できます。
 - ・ホースを延長して使用するほど(8m以上)、ラインの圧力も相応してあげなければなりません。
 - ・使用に際しては良好な状態でソケットやアダプターを使用してください。
 - ・作業時は必ずセーフティグラス、イヤーマフ、防塵マスク、手袋を着用してください。
 - ・作業現場は必ず換気をよくしてください。
 - ・動力源が故障した場合はエアーツールをはずしてください。
- ・絶縁されていませんの電源に接触しないように注意して作業して下さい。
 - ・火災・爆発要因のある環境下では、パワーツールは使用しないで下さい。
 - ・ホースをつけたままエアーツールを移動させないで下さい。
また圧力のかかったホースには注意して下さい。
 - ・作業対象物は必ず適正な工具に固定して下さい。
 - ・適正シャフトサイズの軸付砥石を使用して下さい。
 - ・ホイールカッターなどは使用しないで下さい。
 - ・砥石の周速は本体回転速度より早くなりますので注意が必要です。



安全上の注意

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。
説明された用途以外の使用は厳禁です。

- ・作業場の照明は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあったエアー工具を使用してください。
工具の能力と作業にあった速度、トルクを選んでください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。だぶついた作業服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具類は回転部に巻き込まれます。長い髪も危険ですので帽子をかぶるようにしてください。手袋を使用するときは、巻き込まれないような品で、すべらない手袋を着用してください。
- ・作業時には必ず防塵用ゴーグルを併用してください。粉塵の多い所では防塵用マスクも併用してください。
- ・加工物をしっかりと固定し、両手で工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。エアーホース、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエアーホースを外してください。
 - ① 工具の取り付け、交換
 - ② 作業終了時
 - ③ 異常を感じたとき
- ・エアー工具を運ぶときは、エアーホースを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エアー工具を使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないか確認してください。

■仕様

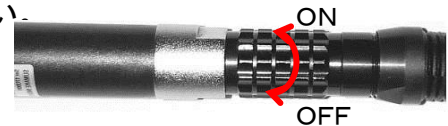
- ・使用圧力…0.6MPa
- ・最大回転数…7200rpm
- ・エア消費量…150L/min
- ・使用コンプレッサー…2HP以上
- ・チャックサイズ…3mm
- ・ホース長…1.7m
- ・重量…250g
- ・本体サイズ…φ 17×132mm
- ・吸入口…R(Rc)1/4”
- ・付属品…プラグ(1個)、スパナ(2丁)



- ・この工具は0.6MPaの圧力で使用するよう設計されています。0.6MPa以下では本来の機能は低下し、それ以上では能力はあがりますが、工具に損傷を与え寿命が短くなります。
- ・クリーンで乾燥した空気で使用して下さい。高湿度や汚れは、エアモーターの寿命を縮めます。エア配管にフィルター、オイラー、圧力調整器を工具の近い所に、取付ける事をお勧めします。
- ・2.5mでは10mmホースが、必要です。それ以上長いホースが必要なときは13mmホースを使用して下さい。

- ① ホースをエアコンプレッサーに接続する前に、回転スイッチが必ずOFFの状態になっていることを確認してください。確認せずに接続すると不慮の回転に巻き込まれる恐れがあります。
- ② 回転スイッチをONにして使用します。回転スイッチをOFFにして作業を終了します。軸の回転が完全に停止するまで、工具を下に置かないでください。

・先端工具は7000rpmに耐えるものを選んでください。



⚠️ 先端工具を交換する前には必ずエア配管からプラグを外して下さい。

● 軸付砥石(別売)の交換

付属のスパナ2丁使用してチャックのナットをゆるめます。
砥石などの軸を深くさして、再びナットをしっかりと締めてください。

スイッチを入れる前に軸付砥石がしっかり取り付けられている事を確認して下さい。



● 安全について

ご使用中、かなりの粉塵等が発生しますので、安全防護の為、安全メガネ、防塵マスクを装着してください。

● メンテナンス

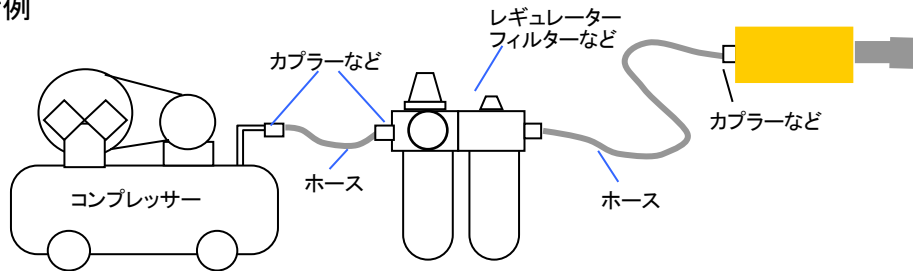
工具を接続する前にISO VG 10くらいのスピンドルオイルを接続口から4～5滴たらして下さい。粘度の高いオイルを差しますと、機能が十分発揮されなくなりますので、もし、誤って粘度の高いオイルを差した時は、洗い流して適正オイルを差してください。3～4時間の作業ごとにオイルをさすと、工具が長持ちします。

● 保管

- ・使用後は水分や汚れを拭き取り乾燥させて、オイルをさしてください。
- ・使用しないときはコンプレッサーホースから工具を外してください。
- ・保管に際しては湿気のある所は避けてください。湿気があると工具内部にサビが発生します。

症状	様子	原因	解決
操作ができない	空気が出ている	ブレードが壊れたか破壊した	ブレードの交換
		ボールベアリングが傷んだ	ベアリングの交換
		モーターの錆か何か詰まった	分解掃除
	空気が出ていない	圧力調整器が開いていない	圧力調整器の調整
		エアーが流れていない	配管又は接続部の点検
		バルブセット損傷又は破壊	バルブセットの分解、修理。
低性能	回転が遅い	エアー圧力不足	エアー圧力をチェック
		圧力バルブが不良	圧力調整バルブの調整
	異常なモーターの回転又は異常音発生	注油不足、ベアリング、前後プレート、シリンダ、ロータ、ブレードの損傷	注油又は部品交換
砥石、コレットサイズの誤り	砥石は使用不可。	砥石のスピンドル、工具のコレットサイズが誤り	砥石又はコレットの交換

● 取り付け例



改造はしないでください。

- 本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ご使用者が怪我をする場合があります。
- 作業行程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号
TEL(06)6532-6226 FAX(06)6541-0929

14.Oct.